

新川水土里たより

第25号

新川農林振興センター農業農村整備広報・広聴連絡会 〒937-0863 魚津市新宿10-7 0765(22)9137【指導課】
★管内の情報★ <https://www.pref.toyama.jp/sangyou/nourinsuisan/nougyou/niiikawa/index.html>

農業者をはじめ関係の皆様には、日頃より農業・農村の振興や当センターの事業推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、農業・農村を取り巻く環境は、国際情勢の不安定化や気候変動等の影響、人口減少や高齢化による農業従事者の減少など大きく変化しています。このような変化に対応し、国では、新たな食料・農業・農村基本計画を令和6年4月に策定し、初動の5年間で集中的に農業構造の転換を進めるとしています。さらに、長期的な見通しと施策



新川地域の魅力ある農業・農村の実現に向けて

所長 吉島 利則

の方向性として土地改良長期計画(令和7年度から令和11年度)が令和7年9月12日に閣議決定されました。

こうした中、当センターでは、人口減少社会においても持続可能な農業の構築に向け、「富富富」の生産拡大と良質米の安定生産や園芸の産地づくり、意欲ある担い手の育成、ほ場の大区画化等に併せ、農地の集積・集約化や高収益作物の導入、スマート農業技術の活用、中山間地域等における省力化整備、老朽化する農業水利施設の計画的な整備・保全等を推進しています。

また、安全で安心な地域づくりに向けて、防災重点農業用ため池の計画的な防災工事など災害に強い生産基盤の整備や、農業用水路への転落事故防止のための一斉点検活動と転落防止柵の設置などを推進しています。さらに、中山間地域農業農村

ICTを活用した効率的なニホンザル対策の実証について

近年、県内でのニホンザルの推定個体数は、令和5年度時点で1,878頭とされており、年々増加しています。県内でのニホンザルによる農作物被害額は100〜300万円と大きく変化はしていませんが、農作物被害額には表れない家庭菜園や家屋への被害、人への威嚇が問題となっています。ニホンザルの対策は、地域ぐるみでの侵入防止や追払い・追

完了地区紹介

農村地域防災減災事業

鉢地区(魚津市)

本地区の鉢用水路は、魚津市鉢地区内の農地をかんがいする水路で、急峻な斜面に接する山腹水路であるため、山側斜面からの土砂や枝葉等の流入が多く、水路閉塞に伴う溢水により大規模な斜面崩壊を引き起こす恐れがあることから、水路下段にある民家や施設への被害が懸念されていました。

このため、本事業により水路の暗渠化を行うことで、被害を未然に防止し、農業生産の維持・農業経営の安定と本地域の防災力の向上を図りました。



農村地域防災減災事業

下楯地区(魚津市)

本地区の下楯用水路は、山地を通過する素掘り隧道及び三方コンクリート水路であり、風化による崩壊や山側法面からの土砂流入により水路閉塞が生じた場合、溢水により水路直下の家屋、施設等に甚大な被害を与える恐れがありました。

このため、本事業により水路の改修(管水路)及び蓋板による暗渠化を行うことで、被害を未然に防止し、農業生産の維持・農業経営の安定と本地域の防災力の向上を図りました。



受賞団体の紹介

(有)林農産(黒部市)

①令和6年度とやま水土里賞(富山県知事賞) 団体の部
令和6年10月17日に有限会社林農産が令和6年度とやま水土里賞(富山県知事賞) 団体の部を受賞し、活動内容をとやま水土里フォーラムにて発表しました。

・本表彰は、施設の維持管理や、多面的機能の発揮のための活動に取り組み、他の模範となる団体および個人に対して表彰するものです。



②令和6年度農業農村整備優良地区コンクール(農業振興部門)
令和6年11月に開催された選定審査会で、農業振興部門の農村振興局長賞に全国から4地区

編集後記

秋にさしかかり、ようやく30度を超えない日が増えてきて過ごしやすくなってきました。より一層皆様との対話を大切に業務を進めていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

フェイスブック やってます!
「とやま水土里探訪ブログ(富山県農村整備課)」
<https://www.facebook.com/toyama.nousonsebi>



表彰内容は富山県HPに掲載しています!



が選ばれ、そのうちの1地区として若栗南部地区の有限会社林農産が選定されました。本コンクールは、全国土地改良事業団体連合会が主催し、農業農村整備事業を契機として、豊かで競争力のある農業や美しく活力のある農村の実現に取り組んでいる地区などを表彰するものです。

排水路の暗渠化



総事業費: 890百万円
事業内容: 区画整理工 27.4ha
工期: R7~R14
担当: 農地整備第一班

令和7年度にスタートした県営事業を紹介します。引き続き、地元の皆さまのご協力をお願いいたします。
農地整備事業
横山地区(入善町)
農地の大区画化や農道、用排水路の整備に加え、排水路の暗渠化や幅広溝畔の設置等、スマート農業に対応した基盤整備を行うことにより、農業生産性の向上と維持管理作業の軽減を図ります。
また、「花き等」の高収益作物及び「大豆」の作付を拡大し、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものです。

新規地区紹介



上げ、捕獲を基本としており、それらにICTを活用し、効率的・効果的な対策とすることが求められています。また、ニホンザルは雌ザルを中心に群れ単位で行動しており、捕獲は群れ単位で行うことが個体数の減少につながるかとされています。しかし、県内での捕獲は、小型檻で群れからはぐれた雄ザルの捕獲を行っているため、あまり効果的な捕獲になっていません。
今年度、県内で推定個体数が多い黒部市において、遠隔監視操作付きの囲いを用いた効果的な捕獲やアプリによる目撃情報の共有と追払い・追上げの体制づくりの実証実験を行っており、それを基にニホンザル捕獲マニュアルを作成し、研修会を通じて県内での普及を図る予定です。

新川地域営農体制確立
チーム地域WGの設置

令和6年度から、新川農林振興センター管内で「新川地域営農体制確立チーム地域WG(ワーキンググループ)」を設置しました。

本WG設置の目的は、農地整備事業(ほ場整備、土地総)実施及び予定地区において、地区の実情を踏まえた営農体制を確立するため、各JA単組に県担当者(農地と普及)と市町担当者及びJA担当者からなる地域WGを設置し、農地整備事業の要望段階から完了後にわたり、事業内容やその進捗状況、担い手への農地集積・集約化や高収益作物の導入状況等について情報共有や取組み方針を協議するものです。令和6年度は、年2回WGを開催しました。

令和7年度は、7月~8月にかけてJA毎に1回目のWGを開催し、継続地区については、事業の進捗や事業要件達成に向けた営農指導内容の確認、事業要件達成に向けた課題等につ

農地整備事業

平柳月山地区(朝日町)

地区の大部分が未整備区域、用排水用の土水路であり、水管理や維持管理に多大な労力を費やしているほか、農道も狭小であることから、大型機械導入の妨げとなっています。

このため、本事業により区画整理及び農業用排水を一体的に施行し、担い手への農地集積・集約化を進めるとともに、「さといも」「白ねぎ」の生産拡大を図り、本地域の豊かで競争力ある農業の実現に資するものです。

未整備の区画



総事業費: 600百万円
事業内容: 区画整理工 15.2ha
工期: R7~R12
担当: 水利防災班

中山間総合事業

にいかわ広域3期地区

(入善町・朝日町)

入善町及び朝日町の農業生産条件が不利な中山間地域におい

いて議論され、新規地区については、担い手及び高収益作物の栽培技術・集出荷・販路の可能性等の情報など活発な意見交換が行われました。

農業用水路転落防止柵
安全対策について

県内では、農業用水路で発生した転落死亡事故件数が平成27年度から令和6年度の10年間に171件発生し、令和6年度は、14件の転落死亡事故が発生しました。そのうち、新川管内は8件と大変多くの事故が発生しています。

多発する転落事故における安全対策の推進として、行政、関係団体や地域組織などが連携して、啓発チラシの作成や市町広報誌、行政SNSへの掲載などで注意喚起を呼びかけました。また、地域住民によるワークショップで意見集約・合意形成する手法により、身近な危険箇所の把握や、実情に応じた対策を検討する危険箇所マップの作成を進めています。

令和6年度は、県内において

ワークショップを20箇所を実施し、うち管内では5箇所実施しました。令和7年度も、引き続きワークショップ実施を予定しています。つきましては、事故防止に向けて市町や土地改良区など関係機関職員の方々のご協力をお願いします。



ワークショップ
(入善町小摺戸)

度より、高齢者向けに特化した講演の依頼も受付けております。今年度も、高齢者等への呼びかけなど、事故防止に向けた身近な注意喚起をよろしくお願います。



の防災力の向上を図ります。

法面崩壊状況



総事業費: 522百万円
事業内容: 水路工(法面工) 207m
工期: R7~R10
担当: 水利防災班

農村地域防災減災事業

大浦地区(滑川市)

大崎野用水路は、山側法面の大規模崩壊に起因した水路閉塞が生じるなど、度々被害が発生しています。

このため、本事業により水路の改修及び蓋板を設置することで被害を未然に防止し、農業生産の維持・農業経営の安定と本地域の防災力の向上を図ります。

倒木・土砂流入



総事業費: 120百万円
事業内容: 用水路工 167m
工期: R7~R10
担当: 水利防災班

農村地域防災減災事業

黒東合口地区(黒部市)

黒東合口用水路の河岸段丘沿いで風化等による法面の脆弱化が確認されており、一部で法面崩壊が発生しています。

このまま、現状を放置すれば、水路本体への影響や法面上部農地及び隣接する公園の安全性が懸念されることから、本事業により法面対策を行うことで、被害を未然に防止し、農業生産の維持・農業経営の安定と本地域

用水路の破損状況



総事業費: 669百万円
事業内容: 用排水路工 4,580m
鳥獣害防止施設 3箇所
工期: R7~R12
担当: 水利防災班

て、農業生産基盤整備事業として農地の区画拡大、農業用排水施設及び獣害防止施設を総合的に整備することで、地域農業の効率化を図り、本地域の特色を活かした農業の確立に資するものです。